

指標9 インシデント・アクシデント

代表者：鶴田 真 クオリティマネージャー：林 幸恵
QM委員会委員10名、診療所職員1名

インシデント
アクシデント

インシデントとは

「医療行為によって患者に不利益を及ぼさなかったが、重大事故に発展する危険を持つ出来事」。なんらかの問題が発生してアクシデントになる一手手前の状況をインシデントと呼んでいます。

アクシデントとは

「医療行為によって患者に障害もしくは不利益を及ぼした事件、事故」。インシデントは出来事を指すのに対して、アクシデントは事故を意味します。事故まで至らなかった出来事はインシデント、事件や事故に発展した場合をアクシデント呼びます。

指標の意義

身体に侵襲を伴う医療行為はインシデント・アクシデントが発生する危険を伴っています。その発生をできる限り防ぐことが医療安全の基本となります。軽微な事故、事故に至らない異常を発見し報告することで重大事故の発生を予防することができます。評価の基準として、一般に医師からの報告が多いと、医師及び、病院の医療安全意識が高いとされています。

Plan(計画)

- インシデント・アクシデントレポート提出目標
2,267件 (283床 × 8 = 年間総提出数)
医師の報告目標は全報告数の10%
- 医療安全管理委員会とセーフティマネージャー会議でインシデント・アクシデントレポートの報告数と内容の確認、対策を検討
- 医療安全管理委員会と管理会議に報告して院内で共有する

Do(実行)

- 2回/月の医療安全推進委員会と、1回/月のセーフティマネージャー会議で、確認して対策の検討を行っている。
- 2回/月医療安全管理委員会と管理会へ報告して全職員で共有している。

Action(改善)

- 【2024年度】
インシデントダッシュボードの活用が始まり、インシデントの多角的な情報がタイムリーに把握できるようになった。ダッシュボードを活用した職場毎の取り組みが進んでいる。

Check(評価)

- 【2023年】
全報告数2549件 医師3.0%
- 【2024年】
全報告数2332件 医師4.8%



活動内容

調査

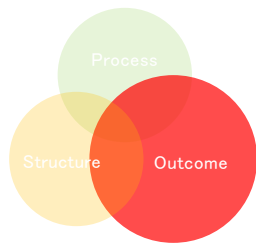
- タイムリーな調査を継続する

広報

- 院内ニュースや病院ホームページに掲載し、結果を可視化する

効果判定

- 重大事故を未然に防ぐ



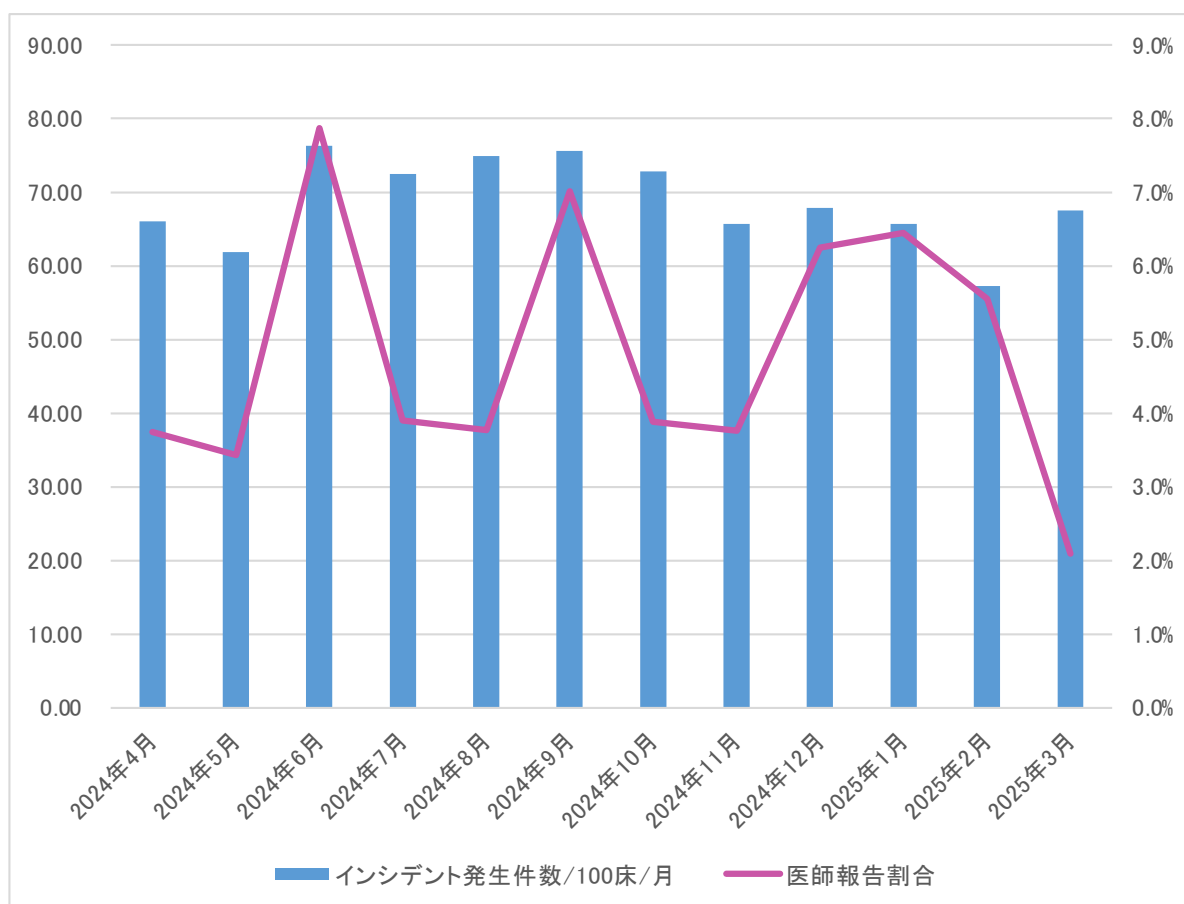
指標9 インシデント・アクシデント

定 義

- 分子 : A)月毎のインシデント・アクシデント発生数×100
B)分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総数件数
- 分母 : A)分許可病床数
B) 調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数

インシデントアクシデント報告数

2024年度結果



●QM委員会より

一般的に医師からの報告数が少ないことが知られています。

医療の透明性を示すと言われている医師からの報告数を増やす取り組みを継続して、結果と合わせて公表することで、地域のみなさまから信頼される病院を目指しています。

インシデント・アクシデント